

1. 評価結果概要表

作成日 2009年1月23日

【評価実施概要】

事業所番号	4075400335		
法人名	有限会社 みやび		
事業所名	グループホーム みやび		
所在地 (電話番号)	〒807-1301 福岡県鞍手郡鞍手町大字猪倉542番地 (電 話) 0949-42-8344		
評価機関名	特定非営利活動法人 北九州シーダブル協会		
所在地	福岡県北九州市小倉北区真鶴二丁目5 - 27		
訪問調査日	平成21年1月23日	評価確定日	平成21年2月3日

【情報提供票より】(平成20年12月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 12 月 7 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤6 人	非常勤4 人 常勤換算4.1 人

(2) 建物概要

建物形態	併設 / 単独		築 4 年
建物構造	木造平屋建て 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	450 円	おやつ 50 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(平成20年11月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86 歳	最低	64 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	鞍手町立病院	百道浜クリニック	コスモス歯科
---------	--------	----------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

桜、紫陽花、ツツジなど、四季折々の花が咲き乱れる緑一面の麦畑の中に、「グループホーム みやび」がある。地域の中で、「愛と向上心」を目指すというオーナー夫妻の考えを職員が理解し、実践に向けた質の高いサービスを目指している。調理師の資格を持つ職員の作る昼食は格別で利用者の食欲を増進させ、参加した私達調査員も美味しい食事に幸せな気分を味わった。認知症専門医の週一回の訪問診療、音楽療法、訪問歯科による指導、看護師であるオーナーの努力で利用者の健康管理は万全で、身体機能の維持向上に向けて努力している。また、町役場から年に1回委託されている家族教室で、オーナーが講師を務めるなど、地域の中で認知症の啓発活動の拠点としての役割を担う、地域に密着したグループホームみやびである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	オーナー夫妻、職員の努力で前回の要改善点7件中3件が改善されている。「運営推進会議を活かした取り組み」「運営に関する家族等意見の反映」「事業所の多機能性を活かした支援」「災害対策」などが今後の課題である。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	オーナー夫妻、職員は、自己評価の意義を理解し、評価を活かし問題解決に向けて日々努力している。なお、自己評価は、ミーティング時に職員が意見を出し合い、管理者がまとめて作成している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、家族の代表、市町村職員、民生委員、区長、老人会会長とで構成し、ホームの行事や現状報告、問題点など活発な意見が出されている。今後は、会議の2ヶ月に1回の定期的な開催と、議題をマンネリ化しないように考えて充実した運営推進会議にしていけることが望まれる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	手作りの意見箱を置いて、家族の意見、苦情の収集に努めているが、ほとんど利用されていない。最低月に1回は支払いのため家族が来訪されるので、その時にゆっくり話を聴くようにしている。これからは、今まで以上に家族とのコミュニケーションに努め、気軽に意見、苦情が出やすい雰囲気作りが望まれる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	近隣に民家が少なく、日常生活のなかで連携はとりにくいが、老人会会長と一緒に畑作りをしたりして交流に努めている。また、町から委託された家族教室で講師を務め、2月には地域の方、利用者の家族にも声をかけて、ホームのこれからの課題である「看取り」について話す予定であり、認知症についての啓発活動の拠点としての役割を担っている。

2. 評価結果(詳細)

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者と職員は地域の一人として、住み慣れた地域で安心した日常生活を過ごすための理念を作成している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は、毎朝朝礼時に理念を唱和し、理念の意義を理解し、実践に向けた努力をしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームの周りは、畑と工場の地域で、近隣に住宅はないが、近くに住む老人会長や地区区長と交流を図りながら、夏祭りや社会福祉会の行事に積極的に参加している。ホーム行事の案内を地域の方に出して、参加してもらうように計画している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は会議の中で職員全員で話し合い、施設長が取りまとめ、作成している。また、施設長、職員は外部評価の意義を理解し、結果表を見て、改善に向けた努力をしている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は4ヶ月毎に開催し、地区区長、老人会会長、民生委員、行政職員、ホーム施設長、職員のメンバーで構成し、ホーム現況、行事、予定等を報告し、参加者からは質問や要望が出されている。	○	運営推進会議は2ヶ月に1回開催できるようにし、会議がマンネリ化しないように議題や開催日時など工夫して運営を推進する会議として、参加者から協力してもらえる体制づくりが望まれる。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町主催の家族教室に講師として参加したり、毎月、介護に関する情報提供や収集を兼ねて、行政担当窓口を訪問している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
7	10	○権利擁護に関する制度の理解活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	毎月のミーティング時に施設長が職員に説明し、理解して全員で共有し、必要と思われる利用者、家族に制度と活用法を説明している。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の支払い時に家族に來訪してもらい、利用者の心身の状態や日々の暮らしぶりを報告している。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見、苦情、心配事等を、玄関に設置した意見箱で対応しているが、家族からは運営に関する相談はほとんどない。	○	家族会を設立し、家族同士の話し合いの場を設けることで、お互いの悩みや心配事、苦情、要望等を話し合い、ホームの運営に関する家族の意見として、反映していくことが望まれる。
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動はこの1年ない。施設長と職員は、利用者との馴染みの関係が、なくなった時の利用者のダメージを理解し、複数の馴染みの関係をつくり、対応している。		
11	19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は職員の募集採用にあたっては性別や年齢などを理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きと勤務し社会参加や自己実現の権利が十分に保障	職員の求人は年齢、性別の制限はなく、ハローワークを通じて採用している。また、職員の休憩時間は休憩室で1時間とり、毎日が生き生きと仕事出来るように配慮している。		
12	20	○人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員などに対する人権を尊重するために、職員などに対する人権教育、啓発活動にとりこんでいる	職員は外部の人権教育、啓発活動に参加する機会が、難しいので、施設長が職員に理念に基づいた指導をしている。		
5. 人材の育成と支援					
13	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎年職員の中から勤務年数、習熟度に合わせて、研修会を受講させている。また、働きながら学ぶ体制を確立し、職員の介護サービスの質の向上に繋げている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
14	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流を図り、職員の相互訪問等で、情報や技術の向上を目指している。		
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に入居希望者と家族の見学などで、馴染みの関係をつくりながら、納得して入居してもらっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	朝食後は利用者一人ひとりが、各居室で自由に過ごす時間をつくり、昼食前には生活リハビリで食欲が出るように配慮し、利用者が孤独に陥らないように、気配りして、心配したり、心配されたりした関係を職員とつくり、支え合っている。		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの希望や何をしたいのかを、時間をかけて聴き取り、出来る限り本人の意向にそつて、支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は利用者や、家族の意見を聴いて、職員会議で検討し、作成している。		
19	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	グループホームの特徴を活かしたきめ細かな介護サービスの見直しを行っている。利用者の状態変化に応じて、その都度見直しを図っている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームの自然環境を活かした野菜や果物の栽培、利用者一人ひとりの健康管理を、提携医や看護師の資格を持つ施設長が迅速に対応している。また、家庭的な雰囲気です和感のない暮らしを送っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医や病院と提携し、24時間365日対応できる体制が出来ている。		
22	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの指針を作成し、入居時に利用者、家族に説明し、理解してもらっている。利用者の状態変化に合わせて、家族、かかりつけ医と連携をとり、話し合いながら看取りの体制を作っている。		
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
23	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの 誇りを尊重し、トイレ誘導等、プライバシーの確保を守り、職員全員で理念に基づいた介護サービスを実践している。		
24	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の大まかな暮らしの中で、利用者一人ひとりの生活のリズムを大切に、日々の暮らしが職員のペースではなく、その人らしいものになるように工夫している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理師の資格を持つ職員のつくる料理は手早く、美味しく、職員と一緒に家庭的な雰囲気の中で、楽しい会話をしながら食べると、利用者の食欲は旺盛で、毎日の元気のもとになっている。		
26	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は利用者全員が介助が必要で、夏は週3回、冬は2回にしているが、利用者の希望に合わせて入浴介助している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物たたみ、ラジオ体操、手芸、畑仕事や買い物、散歩、外食等、職員は利用者の心身の状態に合わせて、役割、楽しみごとの支援をしている。		
28	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の外出の希望を職員は可能な限り優先して、戸外に出かける支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害を職員は理解しており、日中は玄関の鍵はかけていない。		
30	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	事業所内の避難訓練はしている。	○	消防署の指導で夜間を想定した避難訓練を、地域住民の協力を得て、実施し、災害時の非常食、飲料水、毛布などの備蓄が望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は利用者一人ひとりの主食、副食、水分の摂取量を把握し、バランスの取れた栄養状態を確保し、健康管理に活かしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等バリアフリーを取り入れ、光や音や臭いも小まめに調整が行われ、居心地の良い共用空間になっている。		
33	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者一人ひとりの居室は家族の協力で、仏壇など馴染みの物や遣い慣れた物を持ち込み、居心地よく暮らせるような、配慮がある。		